

Title	第十四回早慶連合史学会
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1966
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.39, No.2 (1966. 9) ,p.147(283)- 147(283)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19660900-0147

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

ンの年代記は、あまりにも短時日の間に書かれたため、不備の点が多いが、しかし、これが唯一の官撰の年代記であるから、この時代の歴史を研究する者が、まず第一にみるべきものである。一世王から四世王までの年代記のうち、どの部分をまず翻訳すべきかは、意見の分れるところだが、——四世王の治世は、周知のように、タイ国開国期の重要な時代である。そして、著者テイパークーラウォンは、この時代、政府の高官として、重要な国政に参与していた。同時代の政治家によって書かれたこの「四世王年代記」は、この時代の対外関係・国内政治・国家儀式等種々の知識を我々に提供する。

タイ国の歴史は、アユッタヤー時代にくらべ、バンコク王朝になると、信ずるに足る史料が豊富になる。しかしながら、従来、それらの史料を利用し得る者は限られていたわけだが、今回「四世王年代記」の英訳が出版され、この王朝の重要な一史料が紹介されたことは喜ばしい。来年出版される第三巻・註の部分を期待してやまない。なお、この紹介文を草するにあたり、石井米雄氏「タイ語文献について③」(「東南アジア研究」第二卷第二号)を参照したことを付記する。

彙報

第十四回早慶連合史学会

昭和四十一年六月十一日

於 慶応義塾大学三田 五二八教室

○研究発表

アラビアンナイトの発端話について

慶 応 石 井 道 彦氏

G・シュトレゼマンの政治活動とその理念

早 稲 田 室 潔氏

キリシタン時代における日本人のラテン語学習

慶 応 井 手 勝 美氏

キュリエン考

早 稲 田 吉 田 順 一氏

○公開講演

戦国武将と印章

早 稲 田 萩 野 三 七 彦氏